※令和4年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　国　　語　　科

教科	国語	科目	言語文化 （総合学科：言語社会系列-中入生）	単位数	2　単位	年次	1　年次
使用教科書	「高等学校　言語文化」（第一学習社）						
副教材等	「新しい古典の学習　2 in 1ｽﾀｲﾙ 学ぶぞ古文と漢文」「基本練習ノート」（尚文出版） 「新版七訂　新訂総合国語便覧」「国語便覧ワークノート」（第一学習社） 「新　標準古文単語300＋150」（文英堂）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

声に出し、手を動かして、文章を味わいましょう。
単語や文法などの知識をインプットし、その知識をつかいこなして読解する力をつけていきます。
また、読解したことをもとに口語訳を作成したり、鑑賞文を書いて発表したりします。周りの人と協働して表現力を身につけます。
積極的に授業に参加し、自分の意見を伝えるとともに、他者の意見も聴いて考えを深め、広げていくことが目標です。
単語テストを中心に、小テストを行います。積み重ねが大切です。継続して取り組みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深める。
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。
(3)言葉が持つ力を体感し、読書に親しんで自己を向上させる。言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典を読むために必要な語彙を身につけている。また、文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。当代の文化や歴史的背景など、読解するのに必要な知識を身に着けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、知識を活用し論理的に考えている。共感、想像し、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。またその思いや考えを他者に適切に伝えることができる。	言葉を通して積極的に知識や思考を深めたり広げたりしようとしている。意欲・関心をもって読書や言語表現に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	古文入門 [教材]　児のそら寝	a:用言の活用、係り結びの復習。 b[読]:古典の文章に慣れ、現代に通じるおもしろさを味わう。 c:学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	歌物語 [教材]　伊勢物語　芥川	a:文化・歴史的背景について理解する。 b[読む]:話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 c:歌物語に積極的に親しもうとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	歌物語 [教材]　伊勢物語　筒井筒	a:「ぬ」「ね」の識別について理解する。 b[読む]:作品に表れているものの見方や考え方を捉え、登場人物の心情を理解する。 c:『大和物語』の同話と読み比べ、解釈を深めようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
2	日記 [教材]　土佐日記　門出	a:「なり」の識別について理解する。 b[読]:女性に仮託して書かれた日記ということを踏まえて、内容を的確に伝える。 c:作品に表出された考え方を理解し、どう感じたかを伝えようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	軍記物語 [教材]　平家物語　木曽の最期	a:主として敬語について文語のきまりを理解する。 b[読]:無常観や武士の生き方をとらえ、内容を解釈する。 c:表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	漢文入門 [教材]　訓読親しむ㈠㈡㈢	a:返り点、助字、再読文字について知り、習得する。 b[書]:漢文訓読の基礎知識を用いて書く。 c:漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物 確認テスト
	故事成語 [教材]　漁父之利、狐借虎威、蛇足	a:漢文の訓読に慣れる。現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 b[書]:内容を理解したうえで、適切に故事成語を用いた例文を作成する。 c:故事成語の由来と意味を積極的に調べ、工夫してまとめようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 発表 提出物	授業態度 提出物
	史伝 [教材]　先従隗始	a:使役、反語などの句法について理解する。 b[読]:郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 c:積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	漢詩 [教材]　唐詩の世界	a:漢詩のきまりを理解する。 b[読]:古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 c:粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
3	随筆 [教材]　枕草子　中納言参りたまひて	a:助動詞について理解し、必要に応じて品詞分解ができる。 b[読]:宮仕えの世界を知り、内容と展開を把握し当時の価値観や文化にふれる。 c:作品にあらわれたものの見方や美意識を積極的に理解しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 提出物	授業態度 提出物
	古典の詩歌 [教材]　奥の細道　旅立ち	a:俳諧の表現技法とその効果について理解する。 b[話/聞]:旅の意味について考え、考え方を伝えあい、聞いてどう思ったかをまとめる。 c:俳諧紀行文の特徴を積極的に理解しようとしている。	定期テスト 小テスト	定期テスト 発表 提出物	授業態度 提出物

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　単元の評価規準[b]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入してください。

※　年間の各領域時間数　　・話すこと／聞くこと　…　(　4　)時間

・書くこと　…　(　6　)時間

・読むこと　…　(　60　)時間